

令和 7 年 12 月 吉日

福島県薬剤師会

会長 長谷川 祐一先生

福島県災害医療コーディネーター
福島県立医科大学附属病院 病院長補佐
島田 二郎

2025 年度 災害薬事実習 開催のご案内

平素より大変お世話になっております。年の瀬のご連絡となり、大変申し訳ございません。2025 年度の災害薬事実習の開催についてのご案内です。

例年開催している災害薬事実習ですが、今年度も集合型研修とし、グループディスカッションや実習を盛り込んだ内容となっています。つきましては、会員の皆様への情報提供をお願いいたします。

なお、本実習は例年同様、東北大学と福島県立医科大学の共同事業である「コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム」のカリキュラムに該当しますが、プログラム受講生以外の一般参加も受け付けております。

【災害薬事実習 概要】

- 開催日：2026 年 2 月 1 日（日）
 - 開催時間：13：00 ～ 16：40（予定） ※ 12:30 より受付開始
 - 参加方法：集合型研修
 - 会場：福島県立医科大学 I&H 光が丘薬局 2F 会議室（後述の地図参照）
 - 受講料：無料
 - 実習プログラム：詳細に関しては別紙のプログラムをご参照ください
 - 定員：24 名程度
- ※ 申込み多数の場合は抽選となる可能性があります、予めご了承ください
- 備考
 - ・実習終了後には修了証書を発行します
 - ・お申込みいただいた方には、受講の可否をメールにてご連絡致します

【災害薬事実習テーマ】

「災害時の薬剤師の支援に必要な基礎知識・技術の修得」

※ 今回は自身が外部からの支援者を受け入れる立場になった（受援側）想定で講義・実習を行います

【実習責任者】

■ 福島県立医科大学附属病院 病院長補佐 島田二郎

なお、本実習は東北大学と福島県立医科大学の共同事業である「コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム」のカリキュラムの一環です

【申込用 QR コード】

【お申し込み方法】

■ 下記の Google フォームに必要情報をご入力ください

(URL) <https://forms.gle/m3sLNYqTsKnMYAhq6>

(QR コード) 右図の通り

■ お申し込み締め切り：2026 年 1 月 23 日（金） 17 時



【お問い合わせ】

■ お申込み・講義内容等に関するお問い合わせは下記にお願いします

◆ 総合南東北病院 薬剤科 塚本 宇史 (つかもと たかふみ)

○ TEL : 024-934-5672 (薬剤科直通)

○ メールアドレス : saigaiyakuji.fmu@gmail.com

○ お願い：可能な限りメールでのお問い合わせにご協力ください

【研修会場・駐車場地図】



2025年度 福島県災害薬事実習 プログラム

【研修日時】 2026年2月1日（日） 13:00～16:40（予定） ※12:30より受付開始

【会場】 福島県立医科大学附属病院 I&H 福島光が丘薬局 2F

【プログラム】 ※ 下記の講義時間等は告知無く予定を変更する可能性があります。予めご了承ください。

項目	時刻	講義時間	講義名等	講義形式
	12:30～13:00	30分	受付開始	
1	13:00～13:15	15分	開会・注意事項のご案内	
2	13:15～13:20	5分	開会の挨拶	
3	13:20～14:00	40分	災害時の共通言語	講義・スマートグループディスカッション
4	14:00～14:45	45分	災害時の初期対応	スマートグループディスカッション
	14:45～14:55	10分	休憩	
5	14:55～15:40	45分	災害薬事ニーズの検討	スマートグループディスカッション
6	15:40～16:25	45分	災害時の本部の動き	シミュレーション
7	16:25～16:35	10分	総合討論	質疑応答
8	16:35～16:40	5分	閉会・連絡事項	

【プログラム詳細】

■ 災害時の共通言語

(実習形式・獲得目標)

- スモールグループディスカッションを通じて「災害時の共通言語の使い方」を修得することを目標とします

(内容詳細)

- 災害時の共通言語である「CSCATT」および「CSCAPPP」の使い方を学びます

■ 災害時の初期対応

(実習形式・獲得目標)

- スモールグループディスカッションを通じて「災害時の初期対応」の知識・技術の修得を目標とします

(内容詳細)

- 災害時の初期対応として、いわゆる「本部立ち上げ」に必要な知識・技術を学びます。また、本部運営開始時の注意事項も学んでいただきます。

■ 災害薬事ニーズの検討

(実習形式・獲得目標)

- スモールグループディスカッションを通じて「災害薬事ニーズ」を検討する技術の修得を目標とします

(内容詳細)

- 様々な災害医療ツール等を用いて災害時の薬事ニーズの収集、その対応に関して学びます

■ 災害時の本部の動き

(実習形式・獲得目標)

- シミュレーションを通じて「災害時の本部の動き」を修得することを目標とします

(内容詳細)

- 講義全体のまとめとして、災害薬事に関する本部業務の立ち上げ・運営に関する実践的なシミュレーションを行います

【お問い合わせ】 お申込み・講義内容等に関するお問い合わせは下記にお願します(可能な限りメールでのお問い合わせにご協力ください)

■ 総合南東北病院 薬剤科 塚本 宇史 (つかもと たかふみ)

- TEL : 024 - 934 - 5672 (薬剤科直通)

- メールアドレス : saigaiyakuji.fmu@gmail.com